



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 平成 27 年 7 月 1 日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-0805
釧路市黒金町 7 丁目 5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyoku/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

木育教室『木育ってなんだろう？～小さな黒板づくり』を実施

～平成 27 年度市民学園講座「子どもチャレンジ」

【概要】

釧路森林資源活用円卓会議は、地元産材の PR の取組みとして、釧路市生涯学習センター（まなぼと幣舞）で小学生を対象とした木育教室（主催一般財団法人釧路市民文化振興財団）を実施しました。

- 日 時 平成 27 年 6 月 27 日（土）9:30～12:00
- 場 所 釧路市生涯学習センター（釧路市幣舞町 4-28）



【実施内容】

小学校 4 年生～6 年生の 25 名を対象に、地元産のカラマツ・トドマツ・シナベニヤを使った木工作と、木育のお話を組み合わせた活動を実施しました。

今年の木工作は「小さな黒板」。初の塗装体験を組み込みました。

乾燥に時間がかかることを考慮して、塗装から実施。講師は釧路建具家具生産協同組合を中心としたメンバーで、説明者は玉垣木工の中田健太郎さんです。

あらかじめ磁石塗料を塗ったシナベニヤに、子どもたちが緑・茶・ピンクの 3 色の黒板塗料を選んで塗装します。ペンキを塗るという体験は初めての子どもが多かったのですが、まずまずの仕上がりになりました。

次に、北海道認定の木育マイスターである丸善木材の鈴木憲太郎さんが、釧路管内の木がどのようにして切られ、加工されて、人の手に渡っているのかを学ぶ木育教室を実施、子どもたちに木の大切さを伝えました。

その後、木工作を再開。メラミンスポンジや布を使った黒板消しを作った後、黒板の棚板を釘とボンドで固定し、紙やすりで磨きます。壁につるすための麻ひもを吊るす穴を電動ドリルで開け、最後に全体をマスキングテープやシール、ポスカなどを使ってデコレーションして完成です。磁石の小物も作りました。



▲（上）小さな黒板が完成です
（下）木育マイスターによる木育のお話

講師：釧路建具家具生産協同組合（北海ハウス（大津）、テンネル家具建具工業（梅上）、一色建具製作所（中野）、釧路建具（遠藤）、玉垣木工（中田）、得地ファニチャー工業（得地）、組合事務局（永田））、釧路工業技術センター（瀧本）、釧路市（農林課：板垣、産業推進室：佐藤、石川）

<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha（全道の市で 1 位）。まさに釧路市は「森林都市」。

「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を平成 22 年 11 月設置しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室

（担当）佐藤 圭

TEL : 0154-31-4550

FAX : 0154-22-8972